

関係各位

2021 年 8 月 16 日

株式会社パテント・リザルト

【遊技機】他社牽制力ランキング 2020

トップ 3 は SANKYO、京楽産業、サミー

弊社はこのほど「遊技機業界」を対象に、2020 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「遊技機業界 他社牽制力ランキング 2020」をまとめました。この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2020 年に最も引用された企業は、1 位 **SANKYO**、2 位 **京楽産業**、3 位 **サミー**となりました。

【遊技機業界 他社牽制力ランキング 2020 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	SANKYO	2,139
2位	京楽産業	1,257
3位	サミー	1,077
4位	ソフィア	771
5位	平和	750
6位	大都技研	742
7位	ユニバーサルエンターテインメント	633
8位	ニューギン	590
9位	三洋物産	587
10位	藤商事	567

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2020 年 12 月までに公開されたすべての特許のうち、2020 年 1 月から 12 月末までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2021 年 5 月 1 日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1位 **SANKYO** の最も引用された特許は「遊技者の公平性を損なわず、異常状態から復旧させられる弾球遊技機」に関する技術で、京楽産業などの計 27 件の審査過程で引用されています。このほか「特定状態中の遊技の興趣を向上させることのできるスロットマシン」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、オリンピアの「射撃性を抑制することができる遊技機」など計 17 件の拒絶理由として引用されています。

2020 年に、SANKYO の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はサンセイアールアンドディ（353 件）、次いで三洋物産（333 件）、京楽産業（316 件）です。

2位 **京楽産業** の最も引用された特許は「当たり判定の権利を示す保留画像を多様に変化できる遊技機」に関する技術で、三洋物産などの計 18 件の審査過程で引用されています。このほか「遊技の進行に直接は関係しない情報を効果的に報知できる遊技機」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、ニューギンなどの計 17 件の拒絶理由として引用されています。

2020 年に、京楽産業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は SANKYO（455 件）、次いでサンセイアールアンドディ（276 件）、大一商会（222 件）です。

3位 **サミー** の最も引用された特許は「入賞しやすい状態が過度に継続しないようにしつつ、入賞しやすさを変化させやすくする遊技機」に関する技術で、山佐の「不正対策をさらに効率的に行う遊技機」関連特許など計 30 件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2020 年に、サミーの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は SANKYO（331 件）、次いで三洋物産（231 件）、ユニバーサルエンターテインメント（204 件）です。

4位 **ソフィア** は「表示演出の興味を高めた遊技機」、5位 **平和** は「外部への光の放射効率を向上し、かつ熱源が発する熱による悪影響を低減できる表示用基板」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【遊技機業界 他社牽制力ランキング 2020 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・ランキング トップ 30 社：本業界の被引用件数上位 30 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL : 03-5802-6580 FAX : 03-5802-8271 HP : <https://www.patentresult.co.jp/>